

最近の雇用情勢について

(平成29年10月)

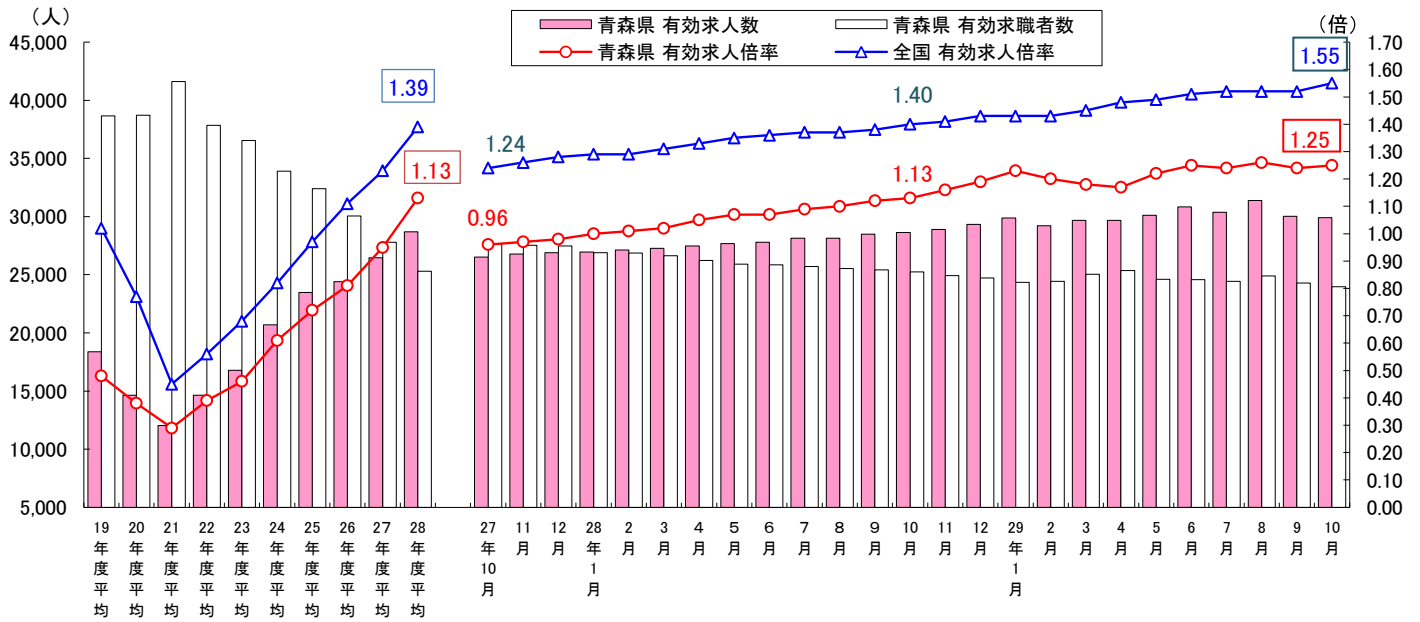
青森労働局

I 求人・求職・受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

10月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.4%減少し29,903人、有効求職者数(同)は1.3%減少の23,976人で、有効求人倍率(同)は1.25倍となり、前月を0.01ポイント上回った。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.36倍となり、前月を0.03ポイント上回り、受理地別の倍率を0.11ポイント上回った。

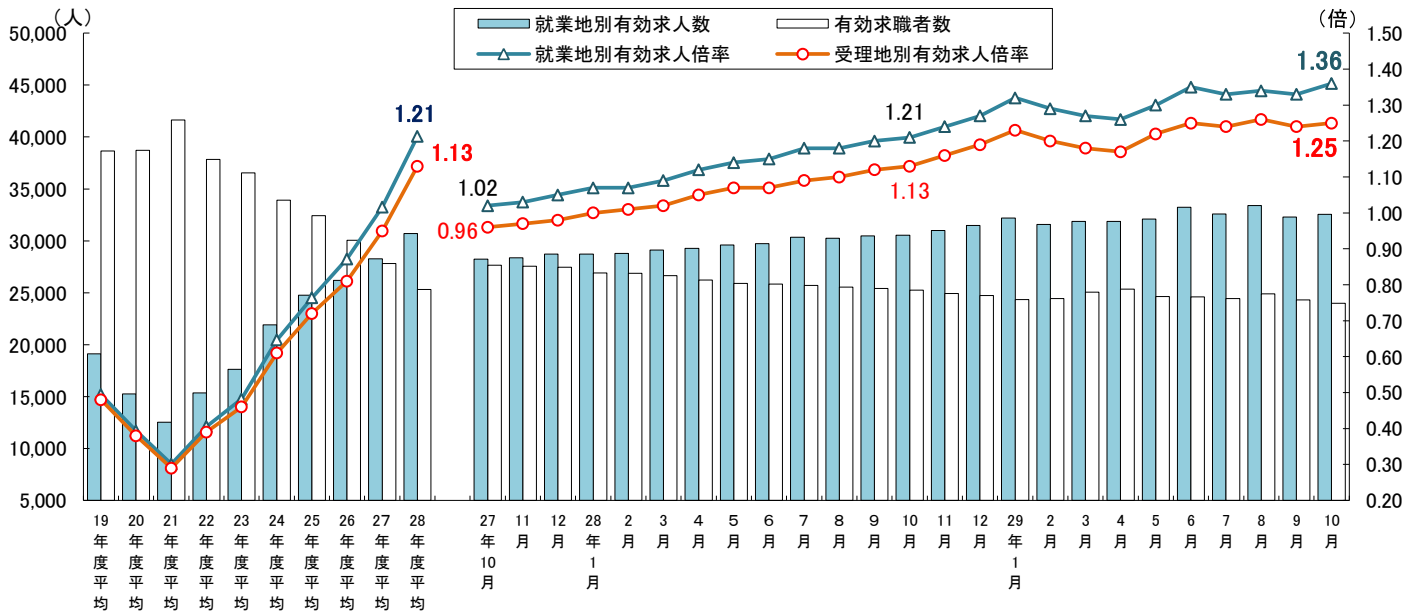
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)

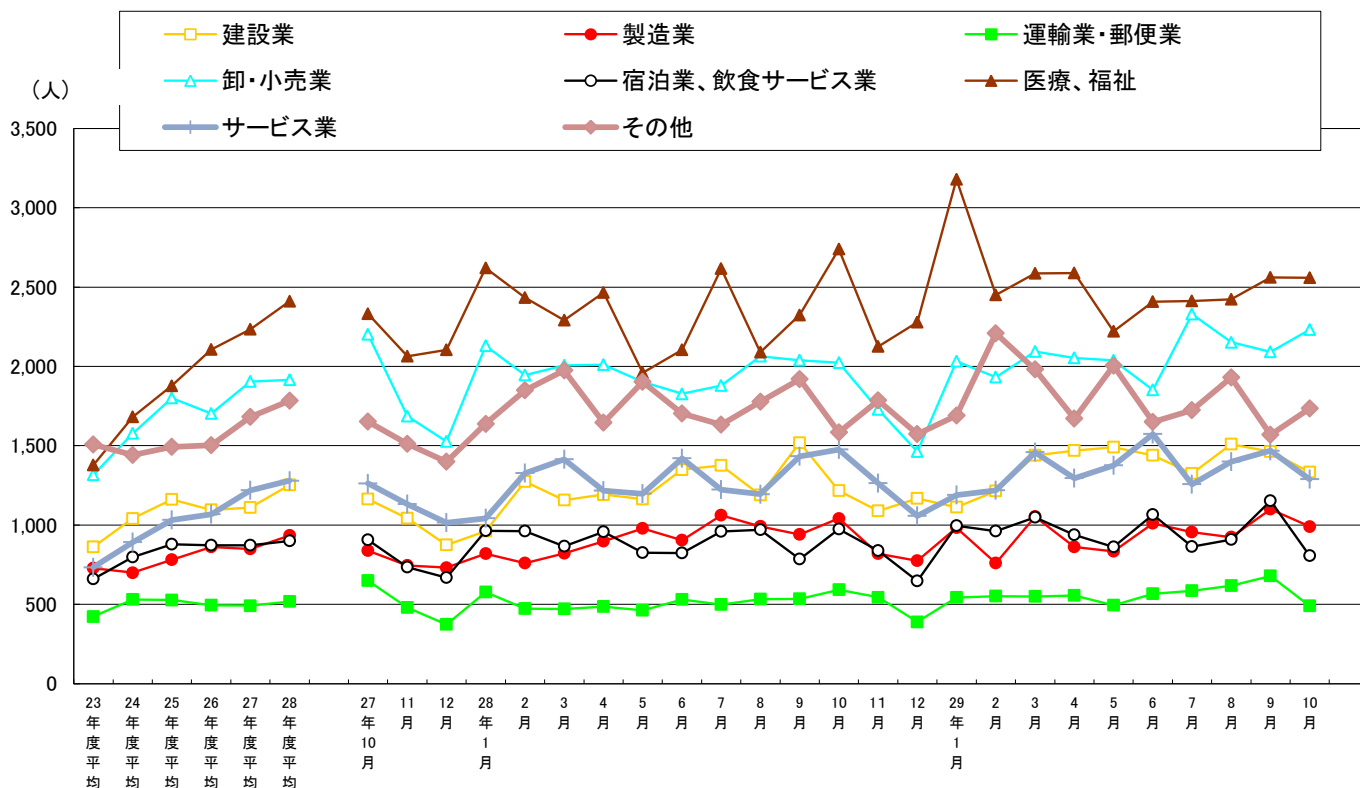


全国のハローワークで受理した求人、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

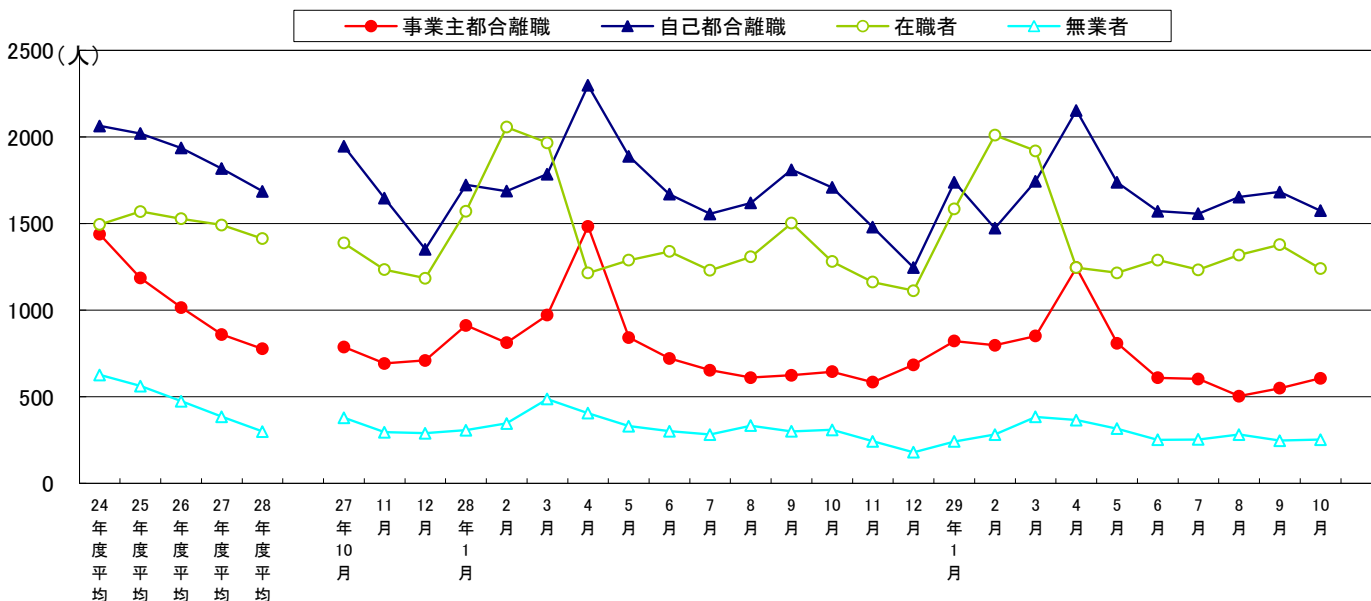
10月の新規求人数(原数値)は前年同月比1.8%(213人)減少、前月比5.4%(647人)減少の11,434人。
 産業別で前年同月と比較すると、建設業、情報通信業、卸売、小売業、不動産、物品賃貸業、複合サービス事業等で増加し、製造業、運輸、郵便業、宿泊、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で減少した。製造業では、木材、木製品製造業、金属製品製造業、業務用機械器具製造業、電気機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、窯業・土石製品製造業等が減少した。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

III 新規求職の状況(パートを除く常用)

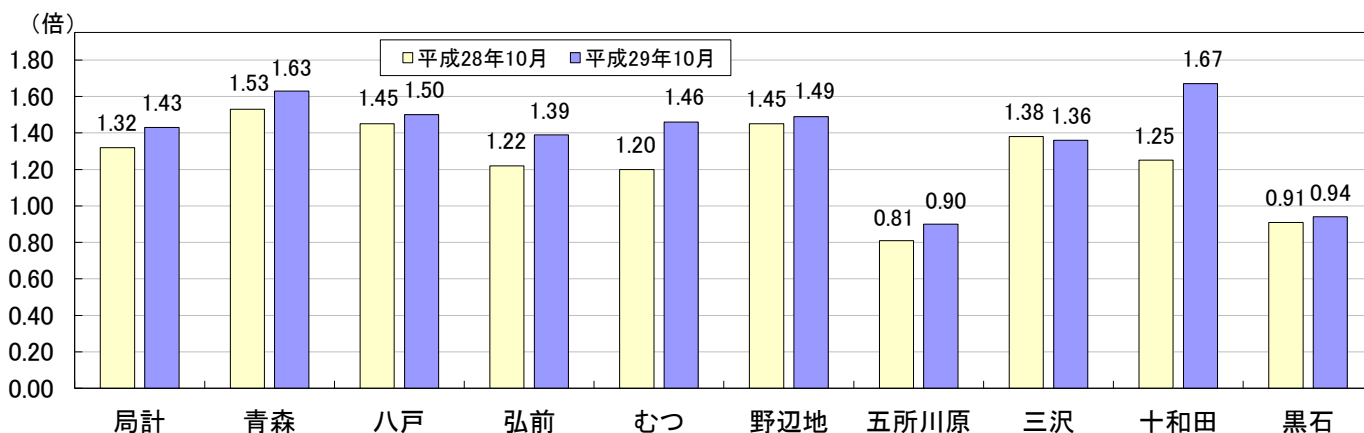
10月の新規求職者数は、前年同月比6.9%(276人)減少、前月比4.4%(171人)減少の3,751人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は3.2%(41人)減少し、離職者は7.3%(179人)減少、無業者は18.2%(56人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は5.9%(38人)の減少、自己都合は7.8%(134人)の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

10月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.43倍となり、前年同月を0.11ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

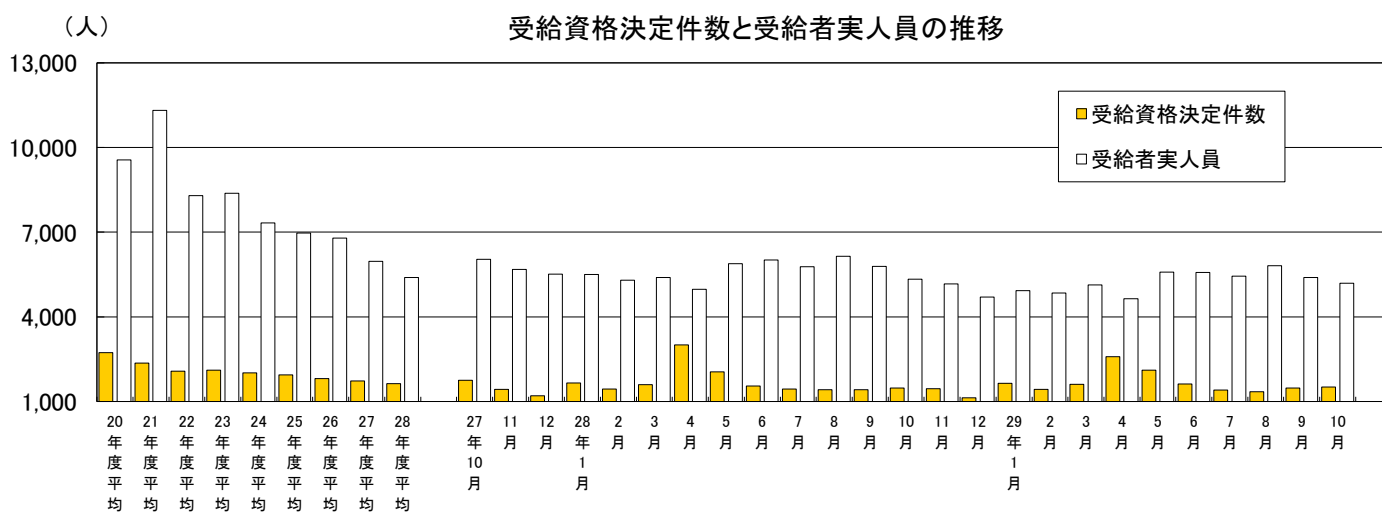


| | 局計 | 青森 | 八戸 | 弘前 | むつ | 野辺地 | 五所川原 | 三沢 | 十和田 | 黒石 |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 有効求職者数 | 22,159 | 5,823 | 5,286 | 3,985 | 1,012 | 737 | 1,956 | 1,217 | 1,007 | 1,136 |
| 有効求人数 | 31,730 | 9,512 | 7,918 | 5,545 | 1,473 | 1,099 | 1,767 | 1,659 | 1,684 | 1,073 |

V 雇用保険の状況

10月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比2.7%(142人)減少、前月比では3.8%(203人)減少の5,185人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比2.2%(32件)増加、前月よりも2.1%(31件)増加し1,507件となった。

資格喪失者(高齢者、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比20.8%(54人)増加、前月比4.6%(15人)減少し314人となった。



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

